

要領の全部を改正する告示が公示され、それぞれ昭和47年4月1日から施行されることになった。

それに伴い趣旨の徹底を図るための講習会を3年間に全教員を対象に開くことになった。

(1) 目的

改正中学校学習指導要領について、その趣旨の説明および必要な研究協議を行ない、もって中学教育の改善充実を図ることを目的とする。

(2) 主催

文部省及び福島県教育委員会

(3) 期 日

(北海道・東北地区講習会) 6月18、19日

(県講習会) 7月30、31日

(4) 参 加 者

(地区講習会) 県から 47名

(県講習会) 国立学校 7名 公立学校 1,997名

私立学校 36名 指導主事 32名

(5) 講 師

(地区講習会) 文部省、大学教授

(県講習会) 北海道・東北地区講習会受講者

(6) 会 場

(地区講習会) 宮城県宮城郡松島町

(県講習会) 福島二中、船引中、郡山二中、棚倉小、若松二中、田島中、原町一中、平一中

(7) 日 程 (県講習会)

時 程	内 容
9:00～9:30	開 会 式
9:30～10:30	総 則
10:40～11:40	道 徳
12:30～14:00	特 別 活 動
14:10～16:10	各 教 科
16:10～16:30	閉 会 式

(8) 内 容

(県講習会)

○開会式：県教育長、会場地区研究会会長等あいさつ

○総 則：教育事務所課長が解説

○部 会：各教科（110分の解説と10分の質疑）

道 徳（50分の解説と10分の質疑）

特 活（50分の解説と10分の質疑）

それぞれ講師が分担によって解説する。

(9) 講 師

(県講習会)

○本庁関係 11名

○教育事務所長 7名

○ " 管理主事 7名

○ " 指導主事 17名

○市教育委員会指導主事 6名

○市町村立学校教員 10名

(10) 所 見 (県講習会)

① 日程・会場・運営・要項等の作成に検討を重ね教育事務所がらっぱに運営する。

② 受講者は1日ずつであったが、たっぷり時間をとった

のはよかった。

③ 受講者は熱心に受講し、質問していた。

④ 会の期間、期日は、少し早かったので、認定講習と重なってしまった。

⑤ 開催前に、研究協議会をもつようにしたい。

【高等学校教育課】

昭和44年度高等学校教育課程福島県研究集会

Ⅰ 昭和44年度高等学校教育課程  
福島県研究集会要項

(1) 目 的

高等学校の教育課程の実施に伴う指導上の諸問題を研究協議し、その解明を図り、教職員の指導力の向上に資する。

(2) 主 催

文部省、福島県教育委員会

(3) 期日・会場校・実施部会

期 日	会 場 校	実 施 部 会
7月23日(水) 24日(木)	福島県立富岡高等学校	国語、社会(地理)、数学、理科(物理)、芸術(音楽)、保健・体育、外国語、特別教育活動・学校行事等、農業、商業、水産、家庭
7月28日(月) 29日(火)	福島県立福島西女子高等学校	国語、社会(地理)、数学、理科(物理)、芸術(音楽)、保健・体育、外国語、特別教育活動・学校行事等、家庭
8月5日(火) 6日(水)	福島県立会津女子高等学校	国語、社会(地理)、数学、理科(物理)、芸術(音楽)、保健・体育、外国語、特別教育活動・学校行事等、商業、家庭
8月18日(月) 19日(火)	福島県立安積女子高等学校	国語、社会(地理)、数学、理科(物理)、特別教育活動・学校行事等、農業、工業

(注) 芸術(音楽)、保健・体育、外国語、家庭の4部会は3会場。農業、商業の2部会は2会場。工業、水産の2部会は1会場

(4) 研究集会の運営

部会は次のとおりとする。

国語、社会(地理)、数学、理科(物理)、芸術(音楽)、保健・体育、外国語、特別教育活動・学校行事等、農業、工業、商業、水産、家庭。

2 各教科等研究

(1) 国 語

① 共通問題

古典としての漢文をどのように指導したらよいか。

② 県問題

古典としての古文をどのように指導したらよいか。

(2) 社 会

① 共通問題

「地理A」および「地理B」において、「国土の開発と保全」の指導は、どうしたらよいか。

② 県問題

「地理A」および「地理B」において、地図学習を効